

藤 沢

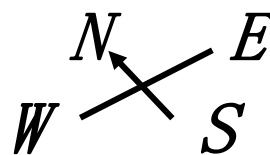
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2022年6月1日

第337号



主
な
記
事

- ・ 藤沢エコネット総会報告
- ・ 今こそ憲法九条を世界に

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ F A X 0466-87-4922

環境月間に寄せて

6月は環境月間。6月5日は世界環境デー。今年のテーマは「かけがえのない地球」です。自然と調和して持続可能な生活を送ること、政策と私たちの選択を通じてより環境に優しいライフスタイルに移行する可能性に焦点を当てています。

今年は1972年国連人間環境会議（ストックホルム会議）から50周年にあたります。昨年の世界的な取り組みでは「国連生態系回復の10年（2021～2030年）」がスタートしました。生態系の回復、気候変動の対処、絶滅危惧種の保護、食料や水の安全保障などに取り組みました。

日本では「#環境の日はグリーン」をテーマに全国260か所のランドマークのライトアップカラーをグリーンにします。江の島シーキャンドルは6月5日、日没から22時まで、片瀬江の島駅舎も6月1日～30日まで、18時半からグリーンライトアップします。また東京FM/JFN系列で若者向けSCHOOL OF LOCK!とのコラボ授業「第1回環境クイズ王決定戦」が6月2日(木)22:00～23:53放送予定です。webでは東洋経済オンラインで中小企業の脱炭素経営の取組やメリット等を紹介し、脱炭素社会の実現に資する企業経営の促進をはかります。



アジサイ いろんな種類ありどれもいいネ

全国で環境月間を盛り上げましょう！

みんなで「#」を付けて「#環境月間…」とSNSに、日頃の環境に関する思っている事、発見、ニュース、訴えたい事などを投稿しましょう！

藤沢市環境フェアは秋に藤沢市民会館で開かれます。展示団体、企画運営委員の募集が始まりました。是非参加しましょう。昨年のふじさわ環境パネル展が藤沢のHPのポータルサイト「ふじさわエコ日和」に掲載されています。

気候危機は待ったなしです。日々の生活の中で、省エネルギーを心がけ、電気を再生エネルギー供給の電気会社に変えるだけでも地球温暖化対策に大きな貢献になります。

「かけがえのない地球」、「かけがえのない生命」を念頭に日々を過ごしたいものです。

(青柳節子)

今こそ憲法九条を世界に

「ふじさわ九条の会 17 周年のつどい(5 月 7 日)」に参加しました。

今、ニュースでは、ロシアがウクライナへ侵攻したことにより起こった戦争の報道を毎日目にします。

今回の講演会で、戦争の抑止に大きな力を持つ憲法第九条の大切さを改めて確認できました。

第一部では高田健さんのお話を伺いました。どの言葉にも、長年言い続け戦ってこられた重みを感じました。『戦争の準備をすれば戦争がやってくる』という言葉は特に頭に残っています。準備をさせてはいけないんだと強く仰っていたことが心に残りました。自民党は先に実体を作りそれに合わせて改憲しようとしていること、国民投票になったら改憲派が勝てる仕組みになってるんだというお話に焦り、怒りを感じました。最後に、「1 の力を出せる人は 1.5 の力を出して！」と仰っておられ、本当に今、私たちが 2 倍の力を振り絞って頑張らないと戦争をできる国家の確立は間近であることを認識し、気持ちが引き締められた講演会でした。

第二部では武本匡弘さんによる、「気候危機・気候正義・平和と地球を守るための憲法九条 戦争は最大の環境破壊」と題してお話でした。

面白くお話し頂くので各所で大笑いしてしまいましたが、話の内容、映し出される写真には息をのみました。気候危機により、気候難民、食料不足が起き、新たな紛争が生まれ、全ての軍事行動は環境破壊である、という繋がりを分かりやすく話してくださいました。

私は講演会の話が何日も頭から離れませんでした。何ができるのか、何をすべきかを問われていると思えたからです。

この機に乗じ、ロシアによる危機を理由に改憲をさせるような事は絶対あってはならない、私たち市民はそのことを常に意識していなければならないと教えて頂きました。
(益永由紀)



藤沢エコネット総会報告

(2021.5~2022.4)

5 月 30 日にオンラインによる総会が開催され、議案が承認されました

1. 地球温暖化防止活動（気候危機）

藤沢エコネットが協力する NGO 気候危機アクション藤沢が 2020 年 8 月発足し、市長に温室効果ガス排出ゼロ宣言を、また 12 月市議会に気候非常事態宣言発出を求めて採択され、2021 年 2 月、藤沢市は気候非常事態宣言を発出した。2021 年度に藤沢市は環境基本計画、温暖化対策実行計画見直しをおこなったが、①実態と乖離した現状把握、②低すぎる CO2 削減目標 46%、③再生エネ計画が見えない、④推進体制に問題、など不十分な計画となっている。

私達市民はパブコメや意見提言などおこなったが、意見は十分に生かされなかった。

気候危機アクション藤沢は、2022 年 3 月市の非常事態宣言 1 周年への声明を HP などに公表、4 月 22 日のアースデーには市役所前で気候時計ポスターを持ってスタンディング、声明文入りチラシを約 150 部配布し、気候危機啓発活動をおこなった。

2. バイオハザード問題

藤沢エコネットが協力する武田問題対策連絡会は、湘南アイパークの遺伝子組み換え実験の安全操業を求め、見守りを続けている。

2020 年 9 月武田薬品工業（株）は湘南アイパークの土地建物全てを三井住友信託銀行に売却し、運営は従来通り武田薬品工業がおこなっている。同年 12 月、藤沢市は環境保全協定を改訂し、武田薬品工業および三井住友信託銀行と結んだ。2020 年県のバイオ指針が廃止された。それに基づき、改訂環境保全協定には、元の県バイオ指針同等の報告を市に報告する事という文言が追加された。’22 年 3 月、キリンホールディングス（株）がヘルスサイエンス研究開発拠点を湘南アイパークに移した。合計 140 社、2200 人がいるという。武田問題対策連絡会は藤沢市を通し、湘南アイパーク（武田薬品）に質問と要望をおこない、安全対策を求めた。

3. 原子力発電問題

2015 年に九州電力川内原発が再稼働、現在 10 基が稼働。廃炉決定は 21 基。原発ゼロ法案が上程されて 1 日も早い原発ゼロ政策を実現する必要がある。

東日本大震災福島第 1 原発事故から 11 年、避難者はピーク時に約 16 万 5 千人だったが、現在も福島県外に 2 万 4 千人弱いる。その半数以上が親族、友人宅等での避難生

活である。福島県の子どもの甲状腺がんは293名、2022年1月、事故発生当時6～16才で甲状腺がんを発症した6人が東電を提訴した。放射能の影響を避けるための保養活動が求められる。

エコネットが協力する福島の子どもたちとともに・湘南の会では神奈川県への避難者を対象に「リフレッシュ in 湘南」を2022年4月2日に江の島で催したが、避難者は参加せず、子どもを含む支援者17名で機学習と交流をおこなった。

エコネットでは毎月空間放射能測定を行い、ニュースに掲載している。

4. 大気保全活動

エコネットが参加している藤沢の空気を考える会で6月と12月にNO2簡易測定調査をした。コロナ禍で6月60本12月60本測定。2020年6月平均0.066ppm、12月平均0.069ppm（環境基準 0.04～0.06ppm以下）。コロナ禍で、'20年'21年度はぜん息統計をしていないとの市の説明。大事な統計なので是非来年度からは実施してほしい。

海岸の砂防林に、県が人体に影響のあるネオニコチノイド系農薬を散布している事を取り上げた。

5. 開発問題その他

村岡新駅建設に県が30%、JRが15%、藤沢市鎌倉市が27.5%づつ拠出予定。駅舎のみで約150億円、周辺開発費を入れると400億円？にもなる。2021年2月にJR、県、藤沢市、鎌倉市4者で合意、2032年完成予定と発表。2022年3月に都市計画決定した。予定地は軟弱地盤である事から、工事に更に増額が予定されている。凍結が望ましい。ニュース掲載した。

6. 環境情報交換活動

- 2021年12月12日～17日 ふじさわ環境パネル展（市主催）に展示参加 環境ポータルサイト「ふじさわエコ日和」に掲載されている。企画実行委員として参加した。気候危機を訴える/大気汚染/武田問題の展示をした。
- ニュース毎月発行 2021年5月号（324号）～2022年4月号（335号）発行。毎月約440部。
- HPは、ニュース前月号までを掲載している。
- WEB会員にニュース毎月カラー写真入りで届けた。
- 300号まで合本製本完成 3図書館に1部ずつ寄贈

藤沢環境運動市民連絡会議（藤沢エコネット）活動計画（2022.5～2023.4）

1. 情勢

- ①地球温暖化問題は環境の中心的課題である。人類の未来に関わっていて、一刻も猶予できない。

気候変動政府間パネル（IPCC）は1990年第1次報告書発表以来、気候温暖化問題を調査研究、2022年4月公表された第6次評価報告書では、地球温暖化の主な原因は人為的な温室効果ガスである事は「疑う余地がない」、産業革命以来すでに1.1度上昇していると発表した。

藤沢市は2021年度、環境基本計画、温暖化対策実行計画改定をおこなったが、温室効果ガス46%削減（2013年度比）と低い目標、弱い再生エネ計画、推進組織の欠如等问题が多い。

- ②戦争は最大の環境破壊・人権破壊である。

2022年2月24日、突如ロシアがウクライナを侵略・侵攻し、首都キエフに迫った。ウクライナの反撃でキエフは守ったが東部・南部攻撃は続き3か月を過ぎた。国外への避難民は600万人を越え、苦難を強いられている。国連総会で193カ国中141カ国の賛成、反対5カ国で、ロシア非難決議が採択された。しかしプーチンロシア大統領は侵略を止めず、核までちらつかせている。

日本では平和安全法制（戦争法）が2015年に成立後、政権は憲法を改正し、自衛隊を書き込もうとしている。改憲に伴う国民投票法が成立、憲法審査会が開かれていく。

- ③新型コロナウイルス感染症は、4年目を迎えたが、一向に収束のきざしは見えない。世界で約5億2700万人が感染し約628万人の死者（2022/5/25現在）が出た。日本では、今までに約870万人感染、約3万人が死亡。藤沢市は（5/27現在）33,931人感染、90人死亡。ワクチン接種が2021年2月から始まり、4回目の接種が'22年5月から始まる。ワクチンの効果なのか、日本の死亡率は0.35%と世界の死亡率1.2%よりかなり低い。
- ④原発は現在10基が稼働中であり、政府は原発をベースロード電源として20%使用しようとしている。40年を経た老朽原発など危険そのものである。
- ⑤バイオハザード、あふれるプラスチック、電磁波の影響、農薬の危険など身近な環境汚染がある。

2. 活動方針

- ①気候危機は待ったなし、2050年温室効果ガス排出ゼロ、2030年石炭・原発ゼロで、温室効果ガス排出50%削減に向け、市に要望・提案を続ける。NGO気候危機アクション藤沢と共に、市民に気候危機を訴え、再生エネルギー推進を進める。
- ②ウクライナに平和を、平和憲法を永久に
ロシアの侵略は国連憲章違反であり、即時停戦、平和をと世論を強め、1日も早い終結を願う

憲法 9 条の改憲は、戦争を呼び寄せるに等しい。東南アジアの国々が警戒心を持ち、軍拡競争へと道を開く。憲法審査会の動きに注視し情報を知らせていく。戦争放棄、武力を持たない平和な日本をとアピールしていく。

2021 年 1 月、核兵器禁止条約が発効したことを生かし、核抑止力は無効であり、唯一の被爆国である日本の政府に核兵器禁止条約批准を求めている。

- ③コロナが収束しない。コロナ関連記事を引き続き、取り上げていく。
- ④原発は地震災害に弱く、福島を事故を教訓として、原発のない日本をめざして活動する。
- ⑤バイオハザード、マイクロプラスチック、電磁波、農薬など身近な環境汚染問題を取り上げる。

3. 活動計画

- ・例会・事務局会議—毎月 1 回
- ・ニュース発行—毎月 1 回印刷発送 WEB 会員に配信
- ・ホームページ更新—毎月ニュース前月号までを掲載
- ・環境講座開催—市内ごみ焼却場、プラゴミ処理施設など見学会 自然観察会 新エネルギー見学会など
- ・ふじさわ環境フェア参加—企画実行委員として取り組む。展示参加。
- ・共通する課題での活動
 - 地球温暖化防止活動 ○脱原発活動 ○平和問題
 - 開発問題 ○大気問題 ○環境影響問題○ごみ問題
 - 環境に関する政策提言・シンポジウム開催など

藤沢エコネット 2021 年度決算・2022 年度予算

収入の部			単位：円
科目	決算	備考	22年度予算
繰り越し	35,850		25,646
会費	150,000	74口	140,000
寄付収入	56,000	寄付	39,354
事業収入	0		25,000
雑入	0		
合計	241,850		230,000
支出の部			
科目	決算	備考	22年度予算
講師謝礼	0		30,000
会場費	4,800	会議室等	5,000
印刷費	63,635	印刷 用紙	40,000
通信費	128,501	メール便	140,000
消耗品	13,268	封筒 ラベル	12,000
雑費	6,000	母親大会広告	3,000
次期繰越	25,646		
合計	241,850		230,000

ECONET INFORMATION

▲ロシアのウクライナ侵略を許さない

鎌倉アピールパレード

6月5日(日) 14:00 集合

大船駅 対話の広場 (大船駅東口 6分)

主催 戦争法廃止! 9条守れアピール行動鎌倉

連絡先 0467-31-2959



▲映画「グレート人ぼっちの挑戦」

小さな女の子が学校ストライキを始めた。大人たちを冷静に見つめた結果、世界を変えた!

とき-6/21・23・25・26・27・30・7/3 10:00 から 6/25・26・7/3 は 14:00 から 開演

ところ-エコストアパパラギ 2階

参加費 ￥1200 (小中学生 1000 円)

予約制 申込 0466-50-0117

主催-気候危機対策ネット・エコストアパパラギ

▲地球交響曲 6月11日(土)13:00-開演

湘南台市民シアターホール ￥3000

申込み <https://00m.in/nmvfu>

主催 湘南地球交響曲を共に奏でる仲間たち

▲気候危機アクション藤沢 街頭宣伝

気候時計掲示とチラシでPRします

6月16日(木) 16:30-17:30

場所 日大六会駅西口

どなたでも参加出来ます

主催 気候危機アクション藤沢



▲藤沢エコネットから

新年度になりました 会費納入をお願いいたします。

振込用紙で入金 又は手渡しで役員まで。

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

【ゆうちょ銀行 加入者名 藤沢エコネット

口座番号 00240-9-46501】

◆事務局会議6月4日(土)

10:00~六会公民館

《編集後記》 毎年楽しみに見学した日本大学内のバラ園が閉鎖となった。この時期いろいろな種類のバラを見てとても癒されたので、無くなったのはとても残念だ。

課題が多い環境問題、ウクライナ戦争で吹き飛んでしまいがちだが、今こそ気候危機を知らせ、後世に負荷のかからない取り組みが必要と総会で確認した。一緒に一歩でも前にふみだそう。(H)